



活動タイトル	外国にルーツを持つ子どものための包括的な日本語教育支援		団体名	公益財団法人神戸YWCA			
<p>1年間の活動 (アウトプット)の目標 (事業全体)</p>	<p>1) クラス学習支援 「勉強に役立つ日本語クラス」 2) 居場所づくり (年11回実施) 3) 個別相談 4) 個別学習支援 ①はっぴー・さぼーと：毎週土曜日 (8月及び居場所づくりの日を除く) に教科の勉強のサポートを実施。 ②日本語初期指導。「勉強に役立つ日本語クラス」の実施時期に間に合わなかった子ども及び小学生への、日本語初期指導及び学習支援。 ③高校進学への教科学習、面接指導等の入試対策。 5) オリジナル教材の作成</p>			<p align="center">■ 活動風景</p>			
<p align="center">■ 活動報告</p>		<p align="center">■ 1年間の目標に対する達成状況</p>			<p>クラス学習支援「勉強に役立つ日本語クラス」修了式の様子</p>	 <p>日本語の先生からメッセージが書かれた「お疲れさまカード」をもらいました。神戸YWCAの日本語の先生、サポーター、保護者、学校の先生、ボランティア教室の支援者などと一緒に。</p>	
<p>●クラス学習支援 「勉強に役立つ日本語クラス」 夏休みの3週間 (月～土曜日)、毎日約3時間、基礎日本語と教科への橋渡しを学ぶ。レベルによって2～3クラスを実施。主な対象は中・高校生。</p> <p>●居場所づくり 1か月に1回 (8月を除く) 土曜日に開催。上記クラスのメンバーや修了生等が集まって互いに情報交換をしたり、先輩からアドバイスをもらう場を提供する。日本事情紹介を含めた、お楽しみ会の実施。</p> <p>●個別相談 高校進学等の進路相談 (学校見学や願書作成、提出手続きの支援等)、学習方法の相談、卒業後の就労に関する相談、その他の生活相談 (保護者等からの相談も含む) を包括的に行う。</p> <p>●個別学習支援 ①「はっぴー・さぼーと」：上記クラスの終了後、毎週土曜日 (8月及び居場所づくりの日を除く土曜日) に教科の勉強のサポートを実施。 ②「勉強に役立つ日本語クラス」の実施時期に間に合わなかった子どもや小学生への日本語初期指導及び学習支援。 ③高校進学への教科学習、面接指導等の入試対策。</p> <p>●オリジナル教材の作成 「勉強に役立つ日本語クラス」実施のための教材を作成した。</p>	<p>●クラス学習支援「勉強に役立つ日本語クラス」 2019年7月29日 (月)～8月16日 (金)、小学校高学年から中学3年生まで12人が受講。小学生の問い合わせが多く小学生クラスを設置。計4クラス。</p> <p>●居場所づくり 計11回実施。参加者22人。延参加者111人 (各回平均で10人)。リピート率81.81%</p> <p>●個別相談 年2回高校進学との進路相談会を実施。延参加者10人 (各回平均5人)。学習相談、生活相談は、居場所づくりや個別学習支援時等に実施した。</p> <p>●個別学習支援 ①はっぴー・さぼーと：2.5時間×計27回実施。参加者20人。延参加者数199人 (各回平均7.3人)。学校の授業の日本語理解度76.11%。 ②日本語初期指導及び学習支援：基本支援 (45分×10回) を4人受講。内、2人は延長支援 (45分×5回) を続けて受講。日本語習得度の平均60%。 ③高校進学への教科学習、面接指導等の入試対策：面接指導1回、成績証明書の翻訳1回、入試対策講座1回、進学相談会3時間×1回、神戸市教育委員会情報交換会への参加1回</p> <p>●オリジナル教材の作成 「勉強に役立つ日本語クラス」のための教材を作成した。今年度は特に小学生のクラスを新設したため、新たな教材作成が必要であった。</p>	<p>居場所づくり</p>	 <p>流しそうめん大会の様子です。本物の竹を使って、手で水を流します。食べるのも流すのもとても楽しかったです。</p>				
<p align="center">■ 1年間の活動のまとめ</p>		<p align="center">■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>	<p align="center">■ 実施した人材育成策</p>	<p align="center">■ 活動成果のアピールポイント (自由記入)</p>			
<p>当初の計画通り、クラス学習支援、居場所づくり、個別相談、個別学習支援、オリジナル教材の作成を行うことができた。 活動を通じて、日本に来たばかりの子どもたちはそれぞれ日本語の初期指導を受け、基本的な日本語力を身につけた。勉強に役立つ日本語クラスでは、小学生の問い合わせが多かったためにクラスを増設した。居場所づくりでは、子どもたちが友だちになり、自然と話し一緒に遊ぶ居場所として、参加人数も増え、リピート率も上がった。高校進学についての入試対策は、支援する枠が初めてできたので、受験生の子どもとの面接や学習をより細かくサポートすることができ、高校合格につながった。 アウトプット、アウトカムの計測を継続的に行うことで、子どもたちの数値に現れない変化の他に客観的なデータが得られ、サポート継続の指標のひとつとなった。</p>		<p>・これまで、小学生、中学生と区切ってサポートを実践してきた経緯がある。今年度、勉強に役立つ日本語クラスでは、小学生も対象としたことで、小学生から高校生までのこどもの発達過程を、全体的に一つの流れとして把握できた。その上に立って、より効果的な日本語サポートのノウハウを得た。 ・高校進学の入試対策支援において、面接や学習サポートを行うため、効果的な方法を模索し、一定のノウハウを確立することができた。 ・居場所づくりのノウハウを得た。子ども達同士が自然に仲間をふやし、自分たちの場を作り上げていくためにはどうすればいいかを学んだ。サポーターの立ち位置を認識することや、子ども同士で動くための触媒の働きなど学んだ。</p>	<p>・従来クラスを担当してきたプロの日本語教師がコーディネーターの役割を担い、新しく携わる日本語教師を増やし、サポーターやボランティア等の応援隊の参加を促しつつ、協力して運営できる体制作りをめざした。 ・居場所づくりの際には、日本人の高校生や神戸YWCA保育園のこどもや保育士にも参加してもらったり、神戸YWCAの理科実験グループ「わいわい科学クラブ」に出前授業に来てもらったり、色々な形で携わる人を増やした。 ・神戸YWCAで日本語を学び、大学生や社会人になっている先輩たちへの参加呼びかけも積極的に行った。</p>	<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>外国にルーツを持つ子どものための包括的な日本語教育支援</p>	<p>を達成しました。</p>	
<p align="center">■ 受益者の変化 (効果測定結果等)</p>							
					<p>●クラス学習支援、個別学習支援の受講者 来日直後にプロの日本語教師から日本語を外国語として構造的に学ぶことにより、学校で新しい知識を学んでいくための基礎的な日本語力を身につけることができた。はっぴーさぼーとでは、幅広い学年の子どもが参加しているので、学年を問わず分からないところを互いに教え合い、先輩が後輩を教える役割を担いあった。 ●居場所づくり 参加者 継続的に参加することにより、子どもたち同士が自然と友だちになり、同じような境遇の子どもといろいろな話ができるようになった。その結果、学校生活等でのストレスを解消できているようだ。また、参加するだけでなく、自分たちで考え準備できるようになった。</p>		